

市制20周年記念



～伊勢市の天然記念物～

守っていこう蓮台寺柿

知ることが守っていくことにつながる



宮山小学校

令和6年度 3年生の取組

1. 生産者さんを訪ねて

宮山小学校3年生の総合の学習で、伊勢市の天然記念物に指定されている蓮台寺柿について調べることになりました。5月9日（木）宮山小学校校区の蓮台寺柿の生産者の相可愛子さんを訪ねて畑の見学をさせてもらったあと、いろいろな質問をしました。



Q:摘果とはどういう仕事ですか？

A:花が咲いたあと、一つの枝に一個の実がなるように葉の形と実のなる向きで残す果実を決め、あとは落としてしまいます。

Q:今はどんな仕事をしていますか？

A:摘果、消毒、除草という作業をしています。



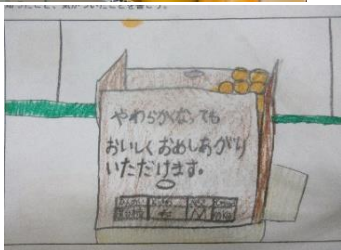
相可愛子さんのお話

私は蓮台寺柿に携わって約50年になります。毎年よい柿を作ろうと思い勉強の日々です。温暖化によって栽培が厳しくなってきました。夏の暑い時期に行う薬剤散布が大変な仕事です。

今現在、柿農家の一番の問題は、高齢化と後継者についてです。生産者のほとんどが70歳以上になってきて、後継者もおらず栽培をやめざるを得なくなってきた生産者が増え、柿の出荷量も年々減ってきています。今年、この地域で一番多く栽培している農家がやめました。せっかく天然記念物に指定されている柿を守るためにみんなで知恵を出し合う必要があると感じています。

2. 選果場見学

10月10日(木)に選果場を見学に行きました。蓮台寺柿の選果場は柿の収穫の時期だけ期間限定で稼働しています。収穫した柿が集まってくるのを待って、午後3時から選果場が開きます。柿農家の方が軽トラックでどんとどんと柿を運び込み、その柿を大きさや等級に分けて箱詰めして出荷していました。



- ・ぺったんこになった段ボールを機械で広げて大きなホッチキスでとめて箱を作っていました。下にすべり台みたいに流れて行ってびっくりしました。農家の人が運んできた柿をローラーに置いて、次に人の目でいろんな種類に分けていました。10キロ以上だったらローラーからはじかれることがびっくりしました。箱に入れてのりを機械でつけてとじて最後にスタンプを押して完成でした。
- ・箱を自動で作ったり、赤秀や青秀の種類別の箱につめていました。1つの箱に10キロずつ正確に入れていたのにおどろきました。
- ・柿を大きさに分けて段ボールに入れていました。柿をきれいにに入れて、箱にはんこを押していました。

児童のふりかえりより

3. 蓮台寺柿の収穫

10月17日（木）に蓮台寺柿の収穫に行きました。今年は酷暑で実が色づくのが遅れたことと、カメムシの被害で実がたくさん腐って落ちてしまったことを聞きました。そんな状況の中でも大きく立派に育った柿を収穫する体験をさせていただきました。



網で柿のヘタの部分を
ひねって収穫します。



収穫した柿は、二酸化炭素を注入したタンクに24時間入れます。そうすることで渋が抜け、甘くておいしい蓮台寺柿になります。

4. ひなたやけ作り

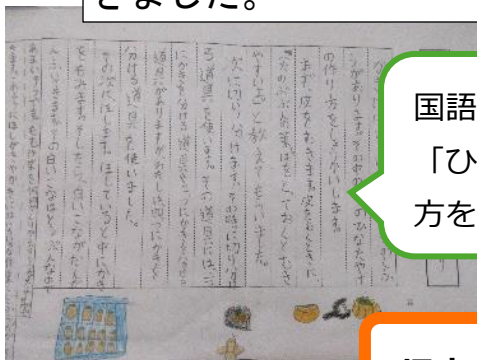
蓮台寺柿を使った干し柿は「ひなたやけ」とよばれます。相可さんたちのグループが試行錯誤をして考案した、国土庁官賞受賞商品です。相可さんに来ていただき3年生全員で「ひなたやけ」作りに挑戦しました。出来上がった「ひなたやけ」をおうちの人や先生たちにも試食してもらい「おいしかった」という嬉しい感想をたくさんいただきました。



渋柿の皮をむき、4個から6個のくし形に切って「すのこ」の上に並べ干していました。



相可さんの家の乾燥機に3日ほど入れてもらってから天日に干しました。毎日揉み続けると中から糖分が白い粉になって出てきます。



国語の説明文作りでも「ひなたやけ」の作り方を文章にしました。

児童のふりかえりより

今日は相可さんたちとひなたやけを作りました。作り方は、まず皮をむきます。その前にヘタの部分をちぎることにびっくりしました。皮をピーラーでむきました。ピーラーを使うのは、初めてでした。皮をむいたら、うすいオレンジ色っぽい黄色になりました。しんを取る型にはめると、きれいに取り除けました。ひなたやけ作りは楽しかったです。